

## (1) 岡山大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	第1学期	2024年4月8日	～	2024年6月6日
	第2学期	2024年6月7日	～	2024年8月10日
	第3学期	2024年10月1日	～	2024年11月28日
	第4学期	2024年11月29日	～	2025年2月14日
試験期間	第1学期	2024年6月上旬		
	第2学期	2024年8月上旬		
	第3学期	2024年11月下旬		
	第4学期	2025年2月上旬		
授業時間	場所	津島キャンパス	鹿田キャンパス	
	1限	8:40～9:30	8:40～9:40	
	2限	9:40～10:30	9:50～10:50	
	3限	10:45～11:35	11:00～12:00	
	4限	11:45～12:35	12:50～13:50	
	5限	13:25～14:15	14:00～15:00	
	6限	14:25～15:15	15:10～16:10	
	7限	15:30～16:20	16:20～17:20	
	8限	16:30～17:20	17:30～18:30	
	9限	17:30～18:20		
	10限	18:30～19:20		

※津島キャンパスにおいて行われる授業は、50分授業。

鹿田キャンパスにおいて医学部・歯学部・薬学部(うち鹿田地区で行われる授業に限る)は、60分授業。

※夜間主コースの授業については、第1, 第2学期を前期授業期間とし、第3, 第4学期を後期授業期間とする。

※補講については、土曜日又は授業担当教員が指定した日に行う。

### ② アクセス(案内図)

#### 津島キャンパスへ

- JR岡山駅運動公園口(西口)広場2階タクシー乗り場から約7分
- JR津山線「法界院」駅下車、徒歩約10分
- JR岡山駅→岡電バス
  - ① 岡山駅運動公園口(西口)バスターミナル22番乗り場から【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車。「岡大入口」、「岡大西門」、「福居入口」又は「岡大東門」で下車。(所要時間約7～10分)  
※本線は時間帯により「岡大東門」には停車しない場合があります。  
なお、「岡大東門」へはキャンパス外周を回った後に到着します。
  - ② 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル13番乗り場から【17】【67】系統「妙善寺」行きに乗車。乗車。「岡大東門」、「岡大西門」又は「福居入口」で下車。(所要時間約30分)
  - ③ 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル7番乗り場から【16】系統「津高台団地・半田山ハイツ」行き、【26】系統「岡山医療センター国立病院」行き、【36】系統「辛香口」行き、【86】系統「運転免許センター」行きに乗車。「岡山大学筋」で下車。大学まで徒歩。  
(所要時間 バス約10分,徒歩約7分)

## 鹿田キャンパスへ

- JR岡山駅後楽園口(東口)タクシー乗り場から約7分
- JR岡山駅→岡電バス
  - ① 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル4番乗り場【2H】系統「大学病院」行きに乗車。「大学病院」(構内バス停)で下車。
  - ② 岡山駅東口バスターミナル3番乗り場から【22】系統「(市役所経由)並木町・岡山ろうさい病院」行き、【52】系統「(市役所経由)当新田・大東」行き、【62】系統「南ふれあいセンター・岡南飛行場」行きに乗車。又は、4番乗り場から【12】系統「岡南営業所」行きに乗車。「大学病院入口」で下車。(バス所要時間約10分)
- 路面電車  
岡山駅前の電車乗り場から「清輝橋」行きに乗車。終点「清輝橋」下車。大学まで徒歩。  
(所要時間 電車約10分、徒歩約8分)



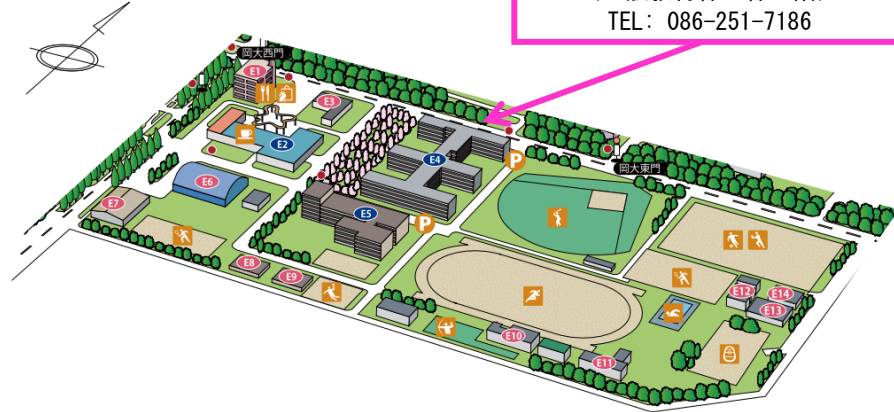
岡山大学公式ホームページ「交通アクセス」  
(<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access.html>)

③ 担当窓口

学務部学務企画課

所在地： 津島地区東キャンパス 一般教育棟A棟2階

学務部学務企画課  
 総務・企画グループ  
 企画担当⑨番窓口  
 (一般教育棟A棟2階)  
 TEL: 086-251-7186



津島地区東キャンパス

E1	南福祉施設 (ピーチユニオン) 大学会館	E4	学務部 国際部 グローバル人材育成院 L-café	E6	清水記念体育館
E2	教育推進機構 入試・高大接続部門 学生支援部門 キャリア・学生支援室	E5	一般教育棟D・E棟 教育推進機構 学生支援部門 障がい学生支援室 スポーツ支援室	E7	第二体育館
E3	保健管理センター 一般教育棟A～C棟 教学企画室 教育推進機構			E8	第一武道館
E4	共通教育部門 外国語教育部門 学生支援部門 学生相談室 留学生相談室 学習・教授支援 (CTE) 部門			E9	第二武道館
				E10	体育管理施設
				E11	校友会文化系クラブ棟
				E12	校友会体育系クラブ棟
				E13	校友会トレーニング棟
				E14	合宿所

電話： 086-251-7186(直通)

#### ④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

##### ・ 履修申込期限

**第1・2学期:4月1日(月)15時まで 第3・4学期:9月19日(木)15時まで**

所属大学によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。  
(申込期限は延長しません。)

##### ・ 履修手続

###### **対面授業科目を履修する方**

※所属大学の単位互換担当者を通じて以下資料を配布する可能性があります。

1. 第1・2学期:4月8日頃, 第3・4学期:10月1日頃に, 以下の印刷物を配付します。  
対面授業科目の履修者は, 必ず受け取りに来てください。また, その際, 講義室の場所をお知らせしますので, 初回授業までに時間の余裕を持って来てください。
  - ①キャンパスマップ
  - ②学生証(単位互換履修生証)
  - ③自動車通学許可申請書類(希望者のみ)
  - ④岡大ID・パスワード通知(必要な場合のみ)
  - ⑤その他 講義関係書類
2. 自動車通学を希望する場合は, 許可が必要です。(駐車料金 有料)

###### **遠隔授業科目を履修する方**

申込手続完了後に, 岡山大学から履修生所属大学の単位互換担当者を通じて, 上記「①～⑤」の書類を, 配布します。

##### ・ 施設利用

岡山大学在学の学生と同じ扱いとします。  
附属図書館・学食等が利用可能です。附属図書館の利用方法は, 図書館カウンターで, 単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

##### ・ 岡山大学 学習支援システムmoodleについて

本学の多くの授業は, moodleという学習支援システムを使用します。このシステムは主にレジュメ等の資料共有や, レポート提出等で利用いたします。担当教員がmoodleを使用すると判断した場合, 本学単位互換担当者が手続を進め, その後「(ログインに必要な)岡大IDやパスワード」, 「moodleの手引き」を単位互換生へお渡ししますので, 必ず一読し, 初回授業までにログイン等の手続を終えておいてください。

(※詳細は申込完了後に別途連絡いたします。)

##### ・ 今後の実施要項の変更について

やむを得ない事情により, 一部実施要項の内容が変更となる可能性がございますこと, ご理解いただいたうえで, お申込みください。変更が生じた場合, 申込後に所属大学の単位互換事務担当者を通じて連絡いたします。

#### ⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

[https://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus\\_link.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html)  
(岡山大学HP→在学生・保護者の方→シラバス→岡山大学開講科目)

・遠隔授業科目

遠隔授業 or 対面授業(理学部)				01101
授業科目名:素粒子と宇宙			担当教員氏名: 吉村 浩司, 増田 孝彦	
Particle Physics and Cosmology			※受講方法を, 遠隔又は対面のどちらかを選択し, 受講してください。	
履修年次 1~4	1単位	第1学期	1コマ	50分×2(金曜1・2限)
<p><b>【授業の目的】</b>            日常では意識しない素粒子と宇宙についての基礎知識を学ぶ。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>            以下の項目について講義する。            ・マイクロな素粒子とマクロな宇宙            ・極微、高速の世界:量子論と相対論            ・素粒子で宇宙を覗く:宇宙の始まり(ビッグバン)と膨張宇宙            ・世界を支配する4つの力:標準理論            ・宇宙マイクロ波背景放射(CMB)とその非一様性:ダークマターとダークエネルギー            ・物質と反物質:CP対称性・時間反転対称性の破れ            ・重力崩壊とブラックホール            ・残された謎</p>				
<p><b>【テキスト】</b>            なし</p>				
<p><b>【参考図書】</b>            ・宇宙創成はじめの3分間 S.ワインバーグ著; 小尾信彌訳 筑摩書房(2008)            ・重力とは何か:アインシュタインから超弦理論へ、宇宙の謎に迫る 大栗博司著 幻冬舎(2012)            ・ホーキング、宇宙を語る:ビッグバンからブラックホールまで スティーヴン・W・ホーキング著; 林一訳 早川書房(1995)            ・強い力と弱い力:ヒッグス粒子が宇宙にかけた魔法を解く 大栗博司著 幻冬舎(2013)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>            出席および試験(レポート課題)</p>				

ハイブリッド授業(工学部)				01102	
授業科目名:セキュリティ概論			担当教員氏名: 横平 徳美, 野上 保之, 福島 行信, 五百旗頭 健吾, 小寺 雄太		
Introduction to Security					
理工系学部 3年次以上	2単位	後期	2コマ	50分×2(月曜7・8限)	
<b>【授業の目的】</b> サイバーフィジカル・ネットワークに渡る情報セキュリティの重要性とそれを実現するための技術に関する深い理解を習得すること.					
<b>【授業内容】</b> 1. 暗号の歴史と概要 2. 暗号数学 3. 共通鍵暗号とデータ暗号化/公開鍵暗号と認証技術 4. 暗号計算のハードウェア実装 5. 暗号ハードウェアに対する工夫と安全性評価 6. 通信における様々な脅威と安全に通信するための暗号技術 7. データリンク層セキュリティ 8. ネットワーク層セキュリティ(1) 9. ネットワーク層セキュリティ(2) 10. トランスポート層セキュリティ 11. アプリケーション層セキュリティ 12. マルウェア感染と解析 (1) 13. マルウェア感染と解析 (2) 14. メモリ破棄攻撃と対策 (1) 15. メモリ破棄攻撃と対策 (2), アクセス制御 (100分の授業を1回としている)					
<b>【テキスト】</b> Web やメールで資料を配布する.					
<b>【参考図書】</b>					
<b>【成績評価の方法】</b> 全15回のうち、5回区切りで小テストやレポート課題を課す。座学60%、テスト・課題40%で成績をつける。					

遠隔授業(教養教育科目 文系学生向き)				01103
授業科目名:生活と物理学			担当教員氏名:池田 直	
Law of Physics in Daily Life			01104「現代社会と先端的物理学」と講義内容が似ているので、どちらか一方のみの履修とすること	
履修年次 1~2	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分×2(月曜 7・8 限)
<p>【授業の目的】 コロナ禍以来、この科目はネット授業を実施していました。すると特に一学期において、文法経教系の学生に履修しやすい物理科目ということもあり、大変多くの学生さんが履修するようになりました。すでに教室には入らない人数の履修希望であるため、24 年度もネットを利用した形で開講します。授業は、moodle 経由で、pdf 化したテキスト、スライド(宿題つき)を配布します。</p> <p>物理学は、人間が自然を理解するための学問であり、同時に現代文明の基盤になっています。この授業は、生活の身の回りにつながった、物理法則の生活との関連を理解することを目的としています。ここ数年は、その中で一番大切と考えられる、「エネルギーの概念とその使い方」ならびに「放射能の捉え方」について、の講義時間が長くなっています。教科書は、物理に興味があり、入門したい人向けの啓蒙書を指定していますが、講義は教科書に準拠しません。</p> <p>対象学生は、文系学部在籍し高等学校で物理を履修しなかった学生を想定しています。また理系の学生さんには、明らかに物足りない内容です。ですので履修はしないようお願いしていますが、興味本位で授業参加の希望があれば、連絡してください。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>1. 導入:物理学がなぜ必要になったのか?, 2. ミクロの世界から宇宙の果までを表す様々な数字について, 3. 力とエネルギーのきちんとした定義 1 運動の法則, 4. 力とエネルギーのきちんとした定義 2, 5. 身の回りには、どんなエネルギーがあるか?, 6. エネルギーを測ってみる。エネルギーの味や値段について, 7. エネルギー・熱の利用, 8. 熱機関と文明, 9. エネルギーの利用(電気と電子の世界), 10. 電子を使う機械、コンピューター、デジカメ、ケイタイ, 11. 光の特徴と量子力学の登場, 12. 光の理解と相対性理論の登場, 13. 放射線の数え方を身につけてください, 14. 放射線とどう付き合うか?, 15. 放射線と人間の関係</p>				
<p>【テキスト】 授業のときに配布する資料を用います。</p>				
<p>【参考図書】</p> <p>10[X]の世界 : 素粒子から銀河まで, 上田剛慈著, 彩図社</p> <p>日常の疑問を物理で解き明かす : スカイツリーの展望台からどこまで見える?携帯電話をアルミホイルで包むとどうなる?, 原康夫, 右近修治著, ソフトバンククリエイティブ</p>				
<p>【成績評価の方法】出席 50 点、レポート 50 点</p> <p>出席は、毎回の授業ごとに資料をダウンロードしてもらおうのですが、ダウンロード完了後に、完了のボタンを押してください。完了ボタンを押さないと、出席が集計されませんので、気をつけてください。</p>				

遠隔授業(教養教育科目 文系学生向き)				01104
授業科目名:現代社会と先端物理学			担当教員氏名:池田 直	
Fruits of Physics in Modern Society			01103「生活と物理学」と講義内容が似ているので、どちらか一方のみの履修とすること	
履修年次 1~2	1 単位	第2学期	2 コマ	50 分×2(火曜 5・6 限)
<p><b>【授業の目的】</b>このところネット授業を実施していました。すると文法系の学生に履修しやすい物理科目ということで、大変多くの学生さんが履修するようになりました。このため 24 年度もネット経由で授業する予定です。授業は、moodle 経由で、pdf 化したテキスト、スライド(宿題つき)を配布します。</p> <p>「現代の社会で用いる様々な文明技術を物理学に入門しながら解説する」という講義を行ってきましたが、受講者にとっては物理学の入門的学習が必要なことが多く、徐々に一学期の「生活と物理学」との内容のかぶりが多くなっています。このため「生活と物理学」を履修された方は、この科目は履修しないようにしてください。ぜひおねがいします。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <p>1. 導入・物理学で用いられる単位系について, 2. 時間や大きさのスケールについて, 3. エネルギーはどこで利用されているか, 4. エネルギー・力学入門, 5. 電気の世界, 6. 電磁波とはなにか, 7. 原子の世界, 8. 安定な原子と放射能, 9. 波の性質, 10. 量子の世界のふしぎ, 11. 最先端の大型研究施設について, 12. 大型放射光施設 SPring8 入門, 13. 大型中性子施設 J-Parc 入門, 14. 世界最高のニュートリノ施設カミオカンデ入門, 15. 自然エネルギーの大きさ, 16. 自然エネルギーをどう使うか</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 授業のときに配布する資料を用います。</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p> <p>10[X]の世界 : 素粒子から銀河まで, 上田剛慈著, 彩図社</p> <p>日常の疑問を物理で解き明かす : スカイツリーの展望台からどこまで見える?携帯電話をアルミホイルで包むとどうなる?, 原康夫, 右近修治著, ソフトバンククリエイティブ</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>出席 50 点、レポート 50 点</p> <p>出席は、毎回の授業ごとに資料をダウンロードしてもらおうのですが、ダウンロード完了後に、完了のボタンを押してください。完了ボタンを押さないと、出席が集計されませんので、気をつけてください。</p>				



・対面授業科目

対面授業(文学部)				01001
授業科目名: フランス語コミュニケーション1			担当教員氏名: 萩原 直幸	
Communication in French 1				
履修年次 1~4	2単位	第1・2学期	2コマ	50分×2(火曜1・2限)
<p><b>【授業の目的】</b>            フランス語コミュニケーションの基礎を身につけること。            * 授業での文法説明は最小限です。文法の勉強は自分で学ぶか、文法の授業に出席するなどしてください。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>            第1週: 動詞 être / 職業・身分を言う            第2週: 形容詞と名詞の性数変化 / 国籍を言う            第3週: 第一群規則動詞 / 住んでいるところを尋ねる・言う            第4週: 疑問文の作りかた / 話せる言語を言う            第5週: 動詞 avoir / 家族について話す            第6週: 不定冠詞所有形容詞, 疑問形容詞 / 年齢を尋ねる, 言う            第7週: 動詞 aimer, adorer, détester, préférer / 好みを言う            第8週: 定冠詞, 形容詞の用法 / 理由をたずねる, 言う            第9週: 指示代名詞 / 物について尋ねる, 説明する            第10週: Il y a の構文 / 位置や場所を尋ねる・言う            第11週: 関係代名詞 / 容姿や服装を尋ねる, 説明する            第12週: 指示形容詞 / 持ち主を言う, 不規則動詞 aller, venir, prendre / 移動について説明する            第13週: 縮約と中性代名詞 / 交通手段について言う, 天候の表現 / 天候について話す            第14週: 時刻の表現 / 時刻を尋ねる, 言う            第15週: 試験(オーラル)</p>				
<p><b>【テキスト】</b>            教科書: FLASH! Methode de francais 三訂版、駿河台出版社 価格 2,400円+税(音声ファイルは出版社サイトからダウンロードできます)            販売店: 生協</p>				
<p><b>【参考図書】</b>            教室にて適宜紹介する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>            授業への取り組み 30%            課題 20%            学期末試験 50%</p>				

遠隔授業(文学部)				01002
授業科目名: フランス語コミュニケーション2			担当教員氏名: 萩原 直幸	
Communication in French 2				
履修年次 1~4	2単位	第3・4学期	2コマ	50分×2(火曜1・2限)
<b>【授業の目的】</b> フランス語コミュニケーション基礎を身につけること。 * 授業での文法説明は最小限です。文法の勉強は自分で学ぶか、文法の授業に出席するなどしてください。				
<b>【授業内容】</b> 第1週: 部分冠詞 / 食習慣について話す 第2週: 中性代名詞 / 値段を尋ねる・言う 第3週: 代名動詞 / 習慣について話す 第4週: 不規則動詞 / 日常生活について話す 第5週: 直説法複合過去(1) / 過去のことを話す 第6週: 直説法複合過去(2) / 期間を言う 第7週: 直説法半過去 / 過去の習慣について話す 第8週: 人称代名詞(直接・間接目的語) / 変化を表す 第9週: 不規則動詞 pouvoir, devoir / できること・しなければならないことを言う 第10週: 不規則動詞 vouloir / 目的を言う, 許可を求める。命令法 / 人を誘う・禁止する 第11週: 近接未来 aller + 不定詞 / 近い未来の出来事について話す 第12週: 直説法単純未来 / 未来の出来事について話す。条件法現在(1) / 条件・仮定を述べる 第13週: 条件法現在(2) / 願望を述べる 第14週: 比較級 / 比較する 第15週: 試験(オーラル)				
<b>【テキスト】</b> 教科書: FLASH! Methode de francais 三訂版、駿河台出版社 価格 2,400円+税(音声ファイルは出版社サイトからダウンロードできます) 販売店: 生協				
<b>【参考図書】</b> 教室にて適宜紹介する。				
<b>【成績評価の方法】</b> 授業への取り組み 30% 課題 20% 学期末試験 50%				

対面授業(教育学部)				01003
授業科目名:中等社会科・公民科指導法 I A			担当教員氏名:桑原 敏典	
Secondary Social Studies(Civics) Class Method I A				
履修年次 2~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(火曜7・8限)
<p><b>【授業の目的】</b>  次の3点を講義の目標とする。  1. 中等教育段階における中等社会科・公民科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できるようになる。  2. 中等教育段階における中等社会科・公民科の発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置づけを考察することができる。  中等社会科・公民科指導法基礎の学びと、自らの学習者としての学びの経験に基づく「教える」という営みの意味を捉え直し、中等社会科・公民科の教科の特質と学習指導の意義を認識することを目的とする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  I. 中等社会科・公民科の目標の再考と授業デザインの方向性の確認  第1回 中等社会科教育の目標論の再考  第2回 公民科教育の目標論の再考  第3回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科探究学習論からの示唆)  第4回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科意思決定学習論からの示唆)  II. 授業構想と模擬授業  第5回 中等社会科公民的分野政治学習の教材研究  第6回 中等社会科公民的分野政治学習の学習指導の構想  第7回 中等社会科公民的分野経済学習の教材研究  第8回 中等社会科公民的分野経済学習の学習指導の構想  第9回 公民科公共の教材研究  第10回 公民科公共の学習指導の構想  第11回 公民科倫理、政治・経済の教材研究  第12回 公民科倫理、政治・経済の学習指導の構想  III. 中等社会科・公民科学習指導論の構築  第13回 中等社会科学習指導論の構築  第14回 公民科学習指導論の構築  試験</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  ・『中学校学習指導要領解説 社会編』  ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。  ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。  ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。  ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p>				

遠隔・対面(併用)授業(教育学部)				01004
授業科目名: 中等社会科・公民科指導法ⅡA			担当教員氏名: 桑原 敏典	
Secondary Social Studies (Civics) Teaching Methods Ⅱ A				
履修年次 2~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(火曜7・8限)
<b>【授業の目的】</b> 次の3点を講義の目標とする。 1. 一般的な中学校社会科・公民科授業の特徴と問題点を理解する。 2. 中学校社会科・公民科授業の分析視点と方法を理解する。 3. 様々な中学校社会科・公民科授業実践の分析を通して、それらの授業構成の理論と方法を把握する。				
<b>【授業内容】</b> 第1回: 公民科教育の歴史的変遷と現状 第2回: 公民科教育の課題 第3回: 学習指導要領中学校社会科・公民科の目標 第4回: 学習指導要領中学校社会科各分野・公民科各科目の目標 第5回: 学習指導要領中学校社会科・公民科の全体構造 第6回: 学習指導要領中学校社会科・公民科の内容 第7回: 学習指導要領公民科各科目の内容 第8回: 学習指導要領中学校社会科・公民科(公共)の指導上の留意点 第9回: 学習指導要領公民科(倫理)(政治・経済)の指導上の留意点 第10回: 中学校社会科の授業構成原理 第11回: 公民科の授業構成原理 第12回: 中学校社会科の授業分析 第13回: 公民科(公共)の授業分析 第14回: 公民科(倫理)の授業分析 第15回: 公民科(政治・経済)の授業分析 第16回: 試験				
<b>【テキスト】</b> ・『中学校学習指導要領解説 社会編』 ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』				
<b>【参考図書】</b> ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。				
<b>【成績評価の方法】</b> 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。				

対面授業(教育学部)				01005
授業科目名:GCED(グローバル・シティズンシップ教育)論 I			担当教員氏名:桑原 敏典	
GCED I				
履修年次 2~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(火曜7・8限)
<b>【授業の目的】</b> 次の3点を講義の目標とする。 (1)グローバル・シティズンシップ教育のカリキュラムについて理解する。 (2)グローバル・シティズンシップ教育の学習指導と評価に関する基礎的な知識とスキルを身に付ける。 (3)グローバル・シティズンシップ教育の課題を理解する。				
<b>【授業内容】</b> 第1回 グローバル・シティズンシップ教育とは何か 第2回 日本の教育政策とグローバル・シティズンシップ教育 第3回 ユネスコにおけるグローバル・シティズンシップ教育普及の取り組み 第4回 ユネスコがめざすグローバル・シティズンシップ教育の実際 第5回 ヨーロッパのシティズンシップ教育カリキュラムの実際 第6回 ヨーロッパのシティズンシップ教育カリキュラムの分析 第7回 米国のシティズンシップ教育カリキュラムの実際 第8回 米国のシティズンシップ教育カリキュラムの分析 第9回 日本におけるシティズンシップ教育の導入 第10回 日本におけるシティズンシップ教育の展開 第11回 グローバル社会におけるシティズンシップ教育の特質 第12回 グローバル社会におけるシティズンシップ教育の課題 第13回 シティズンシップ教育の評価の方法 第14回 シティズンシップ教育の評価の課題 第15回 教師のためのグローバル・シティズンシップ教育 試験				
<b>【テキスト】</b> テキストは用いない				
<b>【参考図書】</b> ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。				
<b>【成績評価の方法】</b> 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。				

対面授業(教育学部)				01006
授業科目名: 中等社会科・公民科指導法基礎 A			担当教員氏名: 桑原 敏典	
Secondary Social Studies (Civics) Class Method BasicA				
履修年次 2~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(木曜1・2限)
<b>【授業の目的】</b> 次の3点を講義の目標とする。 1. 一般的な社会科授業の特徴と問題点を理解する。 2. 探求としての社会科授業構成のねらいと方法を理解する。 3. 社会科授業分析や指導案作成のための基礎的な力を養う。				
<b>【授業内容】</b> I. 中等社会科・公民科の目標の再考と授業デザインの方向性の確認 第1回 中等社会科教育の目標論の再考 第2回 公民科教育の目標論の再考 第3回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科探究学習論からの示唆) 第4回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科意思決定学習論からの示唆) II. 授業構想と模擬授業 第5回 中等社会科公民的分野政治学習の教材研究 第6回 中等社会科公民的分野政治学習の学習指導の構想 第7回 中等社会科公民的分野経済学習の教材研究 第8回 中等社会科公民的分野経済学習の学習指導の構想 第9回 公民科公共の教材研究 第10回 公民科公共の学習指導の構想 第11回 公民科倫理、政治・経済の教材研究 第12回 公民科倫理、政治・経済の学習指導の構想 III. 中等社会科・公民科学習指導論の構築 第13回 中等社会科学習指導論の構築 第14回 公民科学習指導論の構築 試験				
<b>【テキスト】</b> ・『中学校学習指導要領解説 社会編』 ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』				
<b>【参考図書】</b> ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。				
<b>【成績評価の方法】</b> 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。				

対面授業(教育学部)				01007
授業科目名:中等社会科・公民科授業開発(応用)			担当教員氏名:桑原 敏典	
Secondary Social Studies(Civics) Class Development(advance)				
履修年次 2～4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(月曜1・2限)
<b>【授業の目的】</b> 次の3点を講義の目標とする。 1. 中学校社会科・公民科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できるようになる。 2. 中学校社会科・公民科の学習評価の考え方を理解している。 3. 中学校社会科・公民科の発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置づけを考察することができる。				
<b>【授業内容】</b> 第1回:社会科学とは何か 第2回:中学校社会科・公民科と社会科学の関係 第3回:中学校社会科・公民科(公共)と社会科学の関係と教材研究 第4回:中学校社会科・公民科(倫理)と哲学・倫理学の関係と教材研究 第5回:中学校社会科・公民科(政治・経済)と社会科学の関係と教材研究 第6回:中学校社会科・公民科と他教科の学問領域との関係と教材研究 第7回:中学校社会科・公民科の評価の理論と方法 第8回:中学校社会科・公民科の評価問題 第9回:中学校社会科・公民科の発展的な学習内容 第10回:中学校社会科・公民科の発展的な学習内容の学習指導 第11回:中学校社会科・公民科の授業づくりの方法 第12回:中学校社会科・公民科の授業づくりの課題 第13回:中学校社会科・公民科(公共)の授業計画作成と考察 第14回:中学校社会科・公民科(倫理)の授業計画作成と考察 第15回:中学校社会科・公民科(政治・経済)の授業計画作成と考察 第16回:試験				
<b>【テキスト】</b> ・『中学校学習指導要領解説 社会編』 ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』				
<b>【参考図書】</b> ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。				
<b>【成績評価の方法】</b> 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。				

対面授業(法学部)				01008
授業科目名:法と正義			担当教員氏名:大森 秀臣	
Law and Justice			90分(金曜9限)18:00~19:30	
履修年次 3・4	2単位	前期	1コマ	定員 特になし
<b>【授業の目的】</b> 本講義は、法や正義をめぐる規範的な議論を検討することを通して、法や正義への根源的な問いを理解する能力や、それらへの多角的な視点を養うことを目的とする。				
<b>【授業内容】</b> 本講義は、「法の目指す正義とは何か」という問いについて、とくに現代の正義論を題材にして解説する。 1 ガイダンス +法と正義 2 正義論概説—正義観念の多様性 3 正義論の思想史—近代における断絶 4 価値相対主義—規範的倫理学の復権まで 5 功利主義—最大多数の最大幸福 6 自由主義—ロールズの正義論 7 グローバル正義—人道的介入、世界の貧困・格差 8 中間試験 9 平等主義的リベラリズム—福祉国家の擁護論 10 リバタリアニズム—市場と自由の正義論 11 共同体論—アイデンティティと共通善 12 フェミニズム—ジェンダーと差異 13 多文化主義—文化的帰属と文化集団の多様性 14 自由主義の展開—3つのポスト自由主義 15 正義論の最前線—デモクラシー論 期末試験				
<b>【テキスト】</b> とくに指定しないが、以下の参考図書を推奨する。				
<b>【参考図書】</b> 平井亮輔編『正義—現代社会の公共哲学を求めて』(嵯峨野書院、二〇〇四年) 神島裕子『正義とは何か—現代政治哲学の6つの視点』(中央公論新社、二〇一八年) 宇佐美誠・児玉聡・井上彰・松元雅和『正義論—ベーシックからフロンティアまで』(法律文化社、二〇一九年) 瀧川裕英・宇佐美誠・大屋雄裕『法哲学』(有斐閣、二〇一四年)				
<b>【成績評価の方法】</b> 普段の取り組みを評価するために中間試験(30点)を実施し、期末試験(70点)と合わせて総合的に成績評価する。				



対面授業(経済学部)				01009
授業科目名:経営学入門			担当教員氏名:藤井 大児	
Introduction to Management				
履修年次 1~4	2 単位	第 1.2 学期	1コマ	90 分×1(月曜 10 限)
<p><b>【授業の目的】</b>  企業経営を車の両輪に喩えると、それらは企業の戦略と組織からなると考えられる。この講義は企業組織の経営管理のあり方について、とくにミクロな視点から理解を深めるものである。  組織の経営管理について興味・関心を持ち、見る目を養うことが狙いであり、理論・実践の両側面からアプローチする。一方で実務的なノウハウを提供するものではない。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  ガイダンス  研究方法  意思決定の理論  創造性の理論  集団の意思決定  リーダーシップ論  マネジャー研究  アントレプレナー研究  演習(講義の内容を映画『12 人の怒れる男』に応用)</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  moodle 配布。一部自身で調達。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  moodle 配布。一部自身で調達。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  小テスト、レポート、試験などから総合的に評価する。  小テスト 2 割、レポート 3 割、試験 5 割を基本。</p>				

対面授業(歯学部)				01010
授業科目名: 痛みの科学			担当教員氏名: 宮脇 卓也・他	
Essays on pain				
履修年次 1~4	1 単位	第 2 学期	2 コマ	50 分 × 2 (月曜 1・2 限)
<p><b>【授業の目的】</b>  痛みはそれを感じる生体への警告信号であり、誰もが日常生活で経験するものです。しかし、それが過剰で持続すれば生活を困難にする場合も生じます。逆に、生活習慣が痛みの原因になることもあります。本授業では、痛みの種類と発生機序、様々な病態における痛みの特徴、および痛みを制御する方法について理解し、日常生活における痛みと健康との関連について考察することを目的としています。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1回: 痛みの科学概説(1)  第2回: 痛みの科学概説(2)  第3回: 痛みの神経解剖生理学(1)  第4回: 痛みの神経解剖生理学(2)  第5回: 痛みの神経薬理学(1)  第6回: 痛みの神経薬理学(2)  第7回: 痛みの臨床(1)  第8回: 痛みの臨床(2)  第9回: 痛みの臨床(3)  第10回: 痛みの臨床(4)  第11回: 痛みの臨床(5)  第12回: 痛みの臨床(6)  第13回: 痛みの臨床(7)  第14回: 痛みの臨床(8)  第15回: 痛みの科学のまとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  なし</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  特にありません。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  出席並びにレポート又は小テストによる各担当教員の成績評価を毎回行い、これを集計して総合評価が 60 点以上を合格とします。レポート又は小テストを課すことから、基本的には毎回の出席を合格の条件とします。</p>				

対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム)				01011
授業科目名:開発学入門			担当教員氏名:山本 由美子	
Introduction to Development Studies			Yamamoto Yumiko	
履修年次 1~4	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 7・8 限)
<b>【授業の目的】</b> Students will learn the different facets of development and discuss the key and emerging issues with a focus on the Asia-Pacific countries. This class will take a multidisciplinary approach to understanding and discussing development, drawing from multiple disciplines such as economics, history, environmental studies, health, and nutrition.				
<b>【授業内容】</b> This is an introductory course on development studies, focusing on a development discourse in the postwar period. The course is designed for students who wish to work in the fields of international development or international business. Other students willing to obtain basic knowledge in development are also encouraged to attend. Through the in-class discussions and research projects, students will have opportunities to gain an in-depth understanding of the development issues in selected countries in the Asia-Pacific or other regions. In the course, we discuss various development agendas related to economic development, human development, and sustainable development.				
<b>【テキスト】</b> No textbooks: Book chapters and articles will be assigned each week (see below).				
<b>【参考図書】</b> Todaro, M.P. and S.C. Smith (2015). <i>Economic Development</i> . UK: Pearson. United Nations (UN). 2000. <i>Millennium Declaration</i> . NY: UN. United Nations (UN). 2015. <i>Transforming our World: The 2030 Agenda for Sustainable Development</i> . NY: UN. UNESCAP. 2019. <i>The 2019 Asia-Pacific SDG Baseline Report</i> . Bangkok: UNESCAP.				
<b>【成績評価の方法】</b> Active participation 30%, weekly assignments (total of 5) 50%, country research paper 20%				

対面授業(教養教育科目)			01012	
授業科目名:健康・スポーツ科学 C			担当教員氏名:鈴木 久雄 :榎本 翔太	
Health and Sports Sciences				
履修年次 1~4	1 単位	通年	1コマ	
<b>【授業の目的】</b> 科学的な視点から運動やスポーツ, 健康について学び, スポーツ実践や健康づくりに役立てる。また, 個々人が自ら設定した課題を探求し, 理論と実践の融合をはかる。				
<b>【授業内容】</b> I 4月10日(水) 18:30~オリエンテーション(岡山大学一般教育棟 D 棟 1階スポーツ支援室にて) II 下記の講義 1)~8)より7回以上受講すること。 場所は岡山大学一般教育棟 E 棟 E11 教室。 1) 4月17日(水)メンタルトレーニングのエッセンスを生活に活かす 2) 5月15日(水)スポーツ栄養って?~ 筋力・持久力・コンディション ~ 3) 6月26日(水)上肢スポーツ障害 4) 7月10日(水)スポーツと心臓 5)10月16日(水)これで納得!! スポーツ外傷と障害 6)11月13日(水)メディア&テクノロジーの発達とスポーツの変化 7)12月11日(水)スポーツと歯科との関わり 8) 1月22日(水)スポーツと法 III 1月22日(水) 講座後に まとめ(岡山大学一般教育棟 D 棟 1階スポーツ支援室にて)				
<b>【テキスト】</b> テキストは使用しない。毎回, 資料およびレポート用紙を配布する。				
<b>【参考図書】</b> 特になし				
<b>【成績評価の方法】</b> 7回分の講義レポート 80%, ディスカッション 20%より評価する。				

対面授業(教養教育科目)				01013
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	1学期	1コマ 火 5.6時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が 認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目 履修願」に韓国語学習歴を記載した文 書(様式は問いません。)を添えて提出 してください。 1学期と2学期をセットで受講するこ とが望ましい。
<p>【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】 第1回 : オリエンテーション 第2~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。 第8回 : 最終試験</p>				
【テキスト】 プリント				
【参考図書】				
<p>【成績評価の方法】 期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01014
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	2学期	1コマ 火 5・6時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が 認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目 履修願」に韓国語学習歴を記載した文 書(様式は問いません。)を添えて提出 してください。 1学期と2学期をセットで受講するこ とが望ましい。
<p>【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】 第1~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。 第8回 : 最終試験</p>				
【テキスト】 プリント				
【参考図書】				
<p>【成績評価の方法】 期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01015
授業科目名:韓国語中級			担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean				
履修年次 1~4	1単位	3学期	1コマ 火 5.6時限	各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が 認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目 履修願」に韓国語学習歴を記載した文 書(様式は問いません。)を添えて提出 してください。 3学期と4学期をセットで受講するこ とが望ましい。
<p>【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p>				
<p>【授業内容】 第1回 : オリエンテーション 第2~7回 : プリントによる韓国語の句型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。 第8回 : 最終試験</p>				
【テキスト】 プリント				
【参考図書】				
<p>【成績評価の方法】 期末試験(40%)、小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)			01016
授業科目名:韓国語中級		担当教員氏名:陳 南澤	
Intermediate Korean			
履修年次 1~4	1単位	4 学期	1コマ 火 5・6 時限  各大学において初級程度の韓国語を 通年履修しているか、それに相当する 韓国語力を有すると授業担当教員が 認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目 履修願」に韓国語学習歴を記載した文 書(様式は問いません。)を添えて提出 してください。 3 学期と 4 学期をセットで受講するこ とが望ましい。
<b>【授業の目的】</b> 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。			
<b>【授業内容】</b> 第1~7回 : プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 各課ごとに単語テストを行う。 第8回 : 最終試験			
<b>【テキスト】</b> プリント			
<b>【参考図書】</b>			
<b>【成績評価の方法】</b> 期末試験(40%)、小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。			



対面授業(教養教育科目)				01017
授業科目名: 数理・データサイエンスの基礎			担当教員氏名: 國米 充之	
Basic Mathematical and Data Sciences			定員 10名	
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	1 コマ	50 分×2(月曜 3・4 限)
<b>【授業の目的】</b> データサイエンスの基盤となる統計および数理の基礎と、データサイエンスの応用事例を修得し、さらに機械学習の概念を学んで、データサイエンスの果たす役割を概観する				
<b>【授業内容】</b> 滋賀大学開発教材(ds-mooc 教材)を活用し、以下の内容を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現実の課題に対するデータサイエンスの役割を理解</li> <li>● データの基本的な分析方法を理解し、コンピュータを用いて実践</li> <li>● データサイエンスの応用事例を知り、機械学習の概要や基礎を理解</li> </ul> なお、PC を用いた確認テストや課題作成等を実施するので、用意して授業に臨むこと			<b>授業計画:</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会におけるデータサイエンス</li> <li>2. データサイエンスの事例と情報倫理</li> <li>3. コンピュータを用いたデータ分析基礎(1)</li> <li>4. データ分析の基礎(2)と分析における注意点</li> <li>5. 機械学習の概要基礎・利用事例</li> <li>6. ニューラルネットワークの概要と今後</li> <li>7. 経済・経営分野におけるデータ活用の事例</li> </ol>	
<b>【テキスト】</b> “大学生のためのデータサイエンス(I)オフィシャルスタディノート改訂版”, “大学生のためのデータサイエンス(II)【機械学習】オフィシャルスタディノート”, 日本統計協会(滋賀大学データサイエンス学部編)				
<b>【参考図書】</b>				
<b>【成績評価の方法】</b> 滋賀大学開発教材による確認テスト、岡大 Moodle での小テスト、ならびに演習課題の提出(評価)により総合的に評価する				

対面授業(教養教育科目)				01018
授業科目名: 数理・データサイエンスの基礎			担当教員氏名: 市岡 優典	
Basic Mathematical and Data Sciences				
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	2コマ	50 分 × 2 (月曜3・4限)
<p><b>【授業の目的】</b>  データサイエンスの基盤となる統計および数理の基礎と、データサイエンスの応用事例を修得し、さらに機械学習の概念を学んで、データサイエンスの果たす役割を概観する。また、各自のパソコン(PC)を用いて、データ分析の実習に実際に取り組む。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  授業計画は、教科書の単元で示す以下の通りで、各自のノート PC を持参しての PC 実習の対面授業と、オンデマンド教材を用いた遠隔授業を隔週で実施します。</p> <p>第1週[対面:PC 実習(Excel)]  はじめに、2.データ分析の基礎(1~2)、3.コンピュータを用いたデータ分析(1~2)</p> <p>第2週[遠隔(オンデマンド教材)]  1.現代社会におけるデータサイエンス(1~6)、 2.データ分析の基礎(3~7)</p> <p>第3週[対面:PC 実習(Excel, R, Python)]  3.コンピュータを用いたデータ分析(3,4,7)</p> <p>第4週[遠隔(オンデマンド教材)]  2.データ分析の基礎(8~10)、 1.現代社会におけるデータサイエンス(7~12)</p> <p>第5週[対面:PC 実習(R, Python)]  3.コンピュータを用いたデータ分析(5~7)</p> <p>第6週[遠隔(オンデマンド教材)]  4.データサイエンスの応用事例(1~9)、 2.データ分析の基礎(11~12)</p> <p>第7週[対面:PC 実習(Python)]  3.コンピュータを用いたデータ分析(8~9)、機械学習とは</p> <p>※理学部学生対象のクラスでの履修になります。</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  「大学生のためのデータサイエンス(I) オフィシャルスタディノート 改訂版」  滋賀大学データサイエンス学部 編、日本統計協会 (ISBN-13: 978-4822341305)  及び、それに対応したオンデマンド映像教材</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  「大学生のためのデータサイエンス(II) オフィシャルスタディノート」  滋賀大学データサイエンス学部 編、日本統計協会 (ISBN-13: 978-4822340537)  「統計学 I :データ分析の基礎」  日本統計学会編、日本統計協会 (ISBN-13: 978-4822340421)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  各回授業時の確認テスト(オンライン)、および、Moodle からの課題提出により評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01019
授業科目名:安全衛生入門			担当教員氏名: 寺東 宏明・岩崎 良章・崎田 真一・ 中西 真・岡本 崇・中原 望	
Introduction of Safety and Health				
履修年次 1~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(金曜 5・6限)
【授業の目的】どのような職種においても仕事における安全衛生管理は必要なものである。その管理は産業医や衛生管理者、作業環境測定士など多くの専門家によって担われているが、個々の労働者の自覚と対応もまた必須である。本講義の目的は職場の安全衛生管理がどのように維持されているのかについて知ることであり、このことは仕事をする際の自分と周囲の安全と健康を守るために重要である。				
【授業内容】職場の安全衛生管理は労働者が健康に仕事をする上で必要なものであり、法令でも規定されている。本講義では安全衛生に関する基本的な知識を、各トピックの専門家による講義・演習によって習得することを目的とする。講師は学内の衛生管理者、放射線取扱主任者、産業医等を招聘し、安全衛生管理の仕組み、関連法令・規制、化学物質管理、健康管理、放射線安全管理等をテーマにする。到達目標は、①安全衛生管理の仕組みについて理解する、②安全衛生管理に関連する法令・規制について理解する、③安全衛生管理に関連する資格について理解する、④日本の安全衛生管理の状況について理解する、⑤職場において安全衛生管理の知識を持って正しい行動が出来る、である。授業は全 8 回で、内容は①ガイダンス、安全衛生の概要、②作業環境要素、③作業管理、安全衛生関連法令・規則、④作業環境管理、⑤放射線安全管理、⑥化学物質管理と環境管理、⑦健康管理、⑧期末試験、である。				
【テキスト】指定しない。				
【参考図書】講義中に紹介する。				
【成績評価の方法】期末試験と講義中の小テストの合算で評価する。100 点満点で、講義中の小テストは各 10 点で回数は未定。期末試験の配点は小テストの実施回数で変動する。				

対面授業(教養教育科目)				01020
授業科目名:生命保険を考える			担当教員氏名:萩原 信裕	
Overview of the Life Insurance Business in Japan				
履修年次 1~4	1単位	第1学期	1コマ	50分×2(月曜5・6限)
<p><b>【授業の目的】</b>  生活の様々な局面で関わりあう生命保険の仕組みや役割、さらに、生命保険会社の基本的な業務等、これからの持続可能な社会生活を営んでいく上での役に立つ知識の習得や目標達成を通じた生活設計、生活上のリスク管理能力の習得・向上</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  ○社会保障問題を背景に、今後一層必要性が高まるであろう生命保険、さらに生命保険会社の組織や基本的な業務について幅広く学習。(下記参照)  1. 社会保障制度の概要  2. 生命保険の基礎的な知識,生命保険の果たす役割  3. 生命保険契約のしくみ  4. 生命保険会社の組織・業務 等</p> <p>○また実践的な作業も実施。(下記参照)  1. 生命保険契約における保険料の算出根拠  2. 必要保障額の算出</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  ・授業レジュメを資料配布する。  ・字幕のないDVDを使用することがあります。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  書名:図説生命保険ビジネス第2版  著者名:山本祥司/川野眞一郎、他  出版社:一般社団法人金融財政事情研究会  出版年度:2022</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業時の受講カード(アンケート、理解確認テスト、レポート等)提出による授業寄与度(概ね30点程度)、および期末試験(穴埋め問題、記述問題)(概ね70点程度)を総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01021
授業科目名:生命保険を考える			担当教員氏名:萩原 信裕	
Overview of the Life Insurance Business in Japan				
履修年次 1~4	1単位	第2学期	1コマ	50分×2(金曜5・6限)
<p><b>【授業の目的】</b>  生活の様々な局面で関わりあう生命保険の仕組みや役割、さらに、生命保険会社の基本的な業務等、これからの持続可能な社会生活を営んでいく上での役に立つ知識の習得や目標達成を通じた生活設計、生活上のリスク管理能力の習得・向上</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  ○社会保障問題を背景に、今後一層必要性が高まるであろう生命保険、さらに生命保険会社の組織や基本的な業務について幅広く学習。(下記参照)  1. 社会保障制度の概要  2. 生命保険の基礎的な知識,生命保険の果たす役割  3. 生命保険契約のしくみ  4. 生命保険会社の組織・業務 等</p> <p>○また実践的な作業も実施。(下記参照)  1. 生命保険契約における保険料の算出根拠  2. 必要保障額の算出</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  ・授業レジュメを資料配布する。  ・字幕のないDVDを使用することがあります。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  書名:図説生命保険ビジネス第2版  著者名:山本祥司/川野眞一郎、他  出版社:一般社団法人金融財政事情研究会  出版年度:2022</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業時の受講カード(アンケート、理解確認テスト、レポート等)提出による授業寄与度(概ね30点程度)、および期末試験(穴埋め問題、記述問題)(概ね70点程度)を総合的に評価する。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01022
授業科目名:ESD「持続可能な開発のための教育」の ホール・コミュニティ・アプローチ			担当教員氏名:柴川 弘子	
Whole-Community Approach for Implementing Education for Sustainable Development				
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	1コマ	50 分×2(火曜 5・6限)
<p><b>【授業の目的】</b> ESD は視点の教育であると言われる。そのような視点を持つことで、どのような場・領域・分野においても実践は可能となるとも言える。そして、それらの視点は、まさに持続可能な社会づくりの実践の中において涵養されるものである。ただ単に実践(者)に出会い・体験するのではなく、その前後における十分な探究プロセスの有無が重要となる。そこで、本授業では、学生自らが ESD に出会い、実践を体感し、視点を獲得するという体験を通じて、ESD の実践者として求められる大切な視点を獲得することを目的としている。 以下の内容について、専門知識や技能を習得することを学習目標とする。</p> <p>① ESD の基礎的知識 ② ESD を地域と連携して実践する上での課題 ③ ESD を推進する地域の取り組み</p>				
<p><b>【授業内容】</b> ESD(Education for Sustainable Development)持続可能な開発のための教育は、世界の諸課題を見据えながらも「地域コミュニティに根差し、多様な人々、社会および環境と有機的につながり」ながら実践されるものである。ホール・コミュニティ・アプローチとは、多様な持続可能な開発の実践の共同体が、それぞれに自律的かつ主体的に生き活きと実践を進めながら、相互に関わり合い、学び合いながら新たな価値を創造していくように ESD が進められる手法(仕組み・仕掛け)のことを意味している。 本講義で目指すのは、その実践を進める上での課題について理解し、具体的な方法について体験を通じて学び、ESD の実践者としての視点を獲得することである。 本講義では、ESD の基礎的な知識と学習理論、そして先進的な実践事例におけるアプローチについて学ぶ。受講生自身もフィールドに出向いたり、実践者の方と出会ったりする体験を通じて、地域と連携して ESD を推進する上での視点を獲得することを期待している 授業計画は以下の通りである。 1回:オリエンテーション、ESD についての講義 2回:フィールドワーク 3回:フィールドワークの振り返り、ディスカッション、課題提起 4回:関係者による講義、ディスカッション 5回:調査(フィールドワーク) 6回:中間報告 7回:調査(フィールドワーク) 8回:提案発表、振り返り、相互評価</p>				
<p><b>【テキスト】</b> なし</p>				
<p><b>【参考図書】</b> 適宜授業で資料を配布・指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> グループディスカッション参加、プレゼンテーション、レポートなどを総合的に評価する。なお、2/3 以上の出席(フィールドワーク含む)が成績評価の対象となる。</p>				

対面授業(教養教育科目)				01023
授業科目名:子どもの歴史の学び方 I—今をつくる歴史—			担当教員氏名:桑原 敏典	
How children learn history I			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1年生～	1単位	第1学期	2コマ	50分×2(木曜 1・2限)
<b>【授業の目的】</b> この授業は、自分たちが受けてきた歴史教育の意義や価値を見直すことを通して、子どもの成長に教育が果たす役割や社会における教育の意義について考えることを目的としています。				
<b>【授業内容】</b> 第1回:なぜ、私たちは子どもの頃から歴史を学んできたのか 第2回:歴史教科書には何かが書かれているか 第3回:歴史教科書の記述はどうなっているか 第4回:私たちは歴史で何を学んでいるか 第5回:教科書に書かれている歴史は正しいか 第6回:教科書は歴史を通して何を伝えようとしているのか 第7回:教科書の記述はなぜ変わるのか 第8回:社会のあり方と歴史教育の役割 第9回:歴史とは何か 第10回:私たちは歴史を学ぶことができるのか 第11回:歴史はなぜ論争になるのか 第12回:どうすれば歴史をめぐる論争を解決できるのか—レポート作成— 第13回:歴史をめぐるどのような論争が起きているか—レポート作成— 第14回:歴史をめぐる論争を解決するためにはどうすればよいか—レポート作成— 最終試験				
<b>【テキスト】</b> 使用しません。				
<b>【参考図書】</b> 授業中に指示します。				
<b>【成績評価の方法】</b> 期末試験(50%)＋レポート(30%)＋コメントシート(20%)				

対面授業(教養教育科目)				01024
授業科目名:子どもの歴史の学び方Ⅱ—未来をつくる歴史—			担当教員氏名:桑原 敏典	
How children learn history Ⅱ			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1年生～	1単位	第2学期	2コマ	50分×2(木曜 1・2限)
<b>【授業の目的】</b> この授業は、自分たちが受けてきた歴史教育の意義や価値を見直し、これからの歴史教育のあり方を考えるを通して、子どもの成長に教育が果たす役割や社会における教育の意義について考えることを目的としています。				
<b>【授業内容】</b> 第1回:子供は歴史を学ぶ意味をどのように捉えているのか 第2回:教師は何を目指して歴史を教えているのか 第3回:アメリカの歴史では日本をどのように教えているのか 第4回:日米の歴史学習の違いは何か 第5回:アメリカの子供は自分の国の歴史をどのように学んでいるのか 第6回:アメリカの子供の歴史の学び方にはどのような課題があるのか 第7回:歴史教育とアイデンティティ 第8回:多様性と歴史教育 第9回:なぜ、日本は近隣諸国と歴史でもめるのか 第10回:日中韓で歴史の学び方は違うのか 第11回:歴史認識問題とは何か 第12回:どうすれば歴史認識をめぐる対立を克服できるのか 第13回:未来をつくる歴史教育の構想 第14回:私が提案する新しい歴史授業 最終試験				
<b>【テキスト】</b> 使用しません。				
<b>【参考図書】</b> 授業中に指示します。				
<b>【成績評価の方法】</b> 期末試験(50%)＋レポート(30%)＋コメントシート(20%)				



対面授業(教養教育科目)				01025
授業科目名:交流による子どもの成長支援 I			担当教員氏名:桑原 敏典	
Support of the Growth of Children through Interaction I			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1年生～	1単位	第3学期	2コマ	50分×2(月曜7・8限)
<p><b>【授業の目的】</b>  この授業は、「NPO 法人だっぴ」との連携に基づいて実施するものです。NPO 法人「だっぴ」は、大人と若者がつながり地域の未来をつくることを目指して活動しています。本授業は、「だっぴ」が取り組まれている活動のうち、中学生が大人と語り合い多様な生き方や働き方に出会って自分たちの将来について考える「中学生だっぴ」への参加を主な内容としています。中学生の精神的な成長を支援する活動に関わることを通して、今の子どもたちが何を考え、どのような不安を抱えているかを知るとともに、彼らの成長を手助けするために大人に何ができるかについて考えを深めることを目指しています。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>授業の実施時期は、団体がイベントを開催する時期に合わせて設定されますので、授業実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。</p> <p>第1回:子どもの成長と社会  第2回:子どもの成長を支える学校と学校外の組織の役割  第3回:中学生の気持ちと心の不安—自身の体験の振り返り—  第4回:中学生の不安の克服と将来への期待—自身の体験の振り返り—  第5回:NPO 法人「だっぴ」の目的  第6回:NPO 法人「だっぴ」の活動  第7回:「中学生だっぴ」とは何か  第8回:「中学生だっぴ」の成果  第9回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割  第10回:「中学生だっぴ」におけるキャストの役割体験  第11回:「中学生だっぴ」の準備  第12回:「中学生だっぴ」の運営  第13回:「中学生だっぴ」の体験  第14回:活動報告会</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  授業中に指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  活動への参加状況のレポート(50%)＋最終報告会での報告内容(50%)</p>				

対面授業(教養教育科目)				01026
授業科目名: 交流による子どもの成長支援Ⅱ			担当教員氏名: 桑原 敏典	
Support of the Growth of Children through Interaction Ⅱ			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1年生～	1単位	第4学期	2コマ	50分×2(月曜7・8限)
<p><b>【授業の目的】</b>  この授業は、「NPO 法人だっぴ」との連携に基づいて実施するものです。NPO 法人「だっぴ」は、大人と若者がつながり地域の未来をつくることを目指して活動しています。本授業は、「だっぴ」が取り組まれている活動のうち、中学生が大人と語り合い多様な生き方や働き方に出会って自分たちの将来について考える「中学生だっぴ」への参加を主な内容としています。中学生の精神的な成長を支援する活動に関わることを通して、今の子どもたちが何を考え、どのような不安を抱えているかを知るとともに、彼らの成長を手助けするために大人に何ができるかについて考えを深めることを目指しています。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>授業の実施時期は、団体がイベントを開催する時期に合わせて設定されますので、授業実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。</p> <p>第1回: 子どもの成長と社会  第2回: 子どもの成長を支える学校と学校外の組織の役割  第3回: 中学生の気持ちと心の不安—自身の体験の振り返り—  第4回: 中学生の不安の克服と将来への期待—自身の体験の振り返り—  第5回: NPO 法人「だっぴ」の目的  第6回: NPO 法人「だっぴ」の活動  第7回: 「中学生だっぴ」とは何か  第8回: 「中学生だっぴ」の成果  第9回: 「中学生だっぴ」におけるキャストの役割  第10回: 「中学生だっぴ」におけるキャストの役割体験  第11回: 「中学生だっぴ」の準備  第12回: 「中学生だっぴ」の運営  第13回: 「中学生だっぴ」の体験  第14回: 活動報告会</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  授業中に指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  活動への参加状況のレポート(50%) + 最終報告会での報告内容(50%)</p>				

対面授業(教養教育科目)				01027
授業科目名:対話による社会参画入門編			担当教員氏名:桑原 敏典	
Introduction edition of a Public Participation through a Conversation			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(金曜7・8限)
<p><b>【授業の目的】</b> この授業は、地域社会に参画する意義の理解に基づいて、自ら社会へ参画しようとする意欲や態度、そのために必要なスキルを身に付けてもらうことを目指します。</p> <p>この授業は、金曜の7・8限の開講となっておりますが、実際の授業の70%は、学外でのボランティア等の活動となります。その時間は、各自が相手との交渉によって決めることとなりますので、授業の実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。</p> <p>第1回:社会参画の意義 第2回:社会参画の方法 第3回:NPOの役割と働き 第4回:NPO活動の実際 第5回:地域課題発見の方法 第6回:地域課題発見のためのワークショップ 第7回:地域課題発見のための技術 第8回:地域課題解決の方法 第9回:地域課題解決のためのワークショップ 第10回:地域課題発見のための実地調査の計画立案 第11回:地域課題発見のための実地調査 第12回:地域課題解決のための実地調査の計画立案 第13回:地域課題解決のための実地調査 第14回:最終報告会</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b> 授業中に指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 活動への参加状況のレポート(50%)＋最終報告会での報告内容(50%)</p>				

対面授業(教養教育科目)				01028
授業科目名:対話による社会参画上級編			担当教員氏名:桑原 敏典	
Advanced edition of a Public Participation through a Conversation			Toshinori Kuwabara	
履修年次 1~4	1単位	第4学期	1コマ	50分×2(金曜7・8限)
<p><b>【授業の目的】</b> この授業は、地域社会に参画する意義の理解に基づいて、自ら社会へ参画しようとする意欲や態度、そのために必要なスキルを身に付けてもらうことを目指します。</p>				
<p><b>【授業内容】</b> この授業は、金曜の7・8限の開講となっておりますが、実際の授業の70%は、学外でのボランティア等の活動となります。その時間は、各自が相手との交渉によって決めることとなりますので、授業の実施時間が時間割通りにはならないことをあらかじめ了解したうえで受講してください。また、入門編を履修していないと履修できません。</p> <p>第1回:教育における社会参画活動の意義 第2回:社会参画活動のためのワークショップ 第3回:参画する組織や団体のインターネットや文献による調査 第4回:参画する組織や団体へのアプローチ 第5回:参画する組織や団体との連絡 第6回:参画する組織や団体との交渉 第7回:地域課題発見のためのワークショップ 第8回:地域課題解決の方法 第9回:地域課題解決のためのワークショップ 第10回:地域課題発見のための実地調査 第11回:地域課題解決のための実地調査 第12回:地域課題解決のための社会参画活動 第13回:社会参画活動の報告会準備 第14回:社会参画活動の報告会</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 使用しない。</p>				
<p><b>【参考図書】</b> 授業中に指示する。</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 活動への参加状況のレポート(50%)＋最終報告会での報告内容(50%)</p>				

対面授業(教養教育科目)				01029
授業科目名:中国語中級			担当教員氏名:孫 路易	
Intermediate Chinese				
履修年次 1~4	1 単位	第 1 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)
<b>【授業の目的】</b> 1.新たな外国語の習得 2.知的能力の涵養 3.異文化理解を通じた人間形成				
<b>【授業の内容】</b> <b>第 1 学期</b> 第 1 回:授業内容の概説等と第一課「旧友重逢」(前半) 第 2 回:第一課「旧友重逢」(後半) 第 3 回:第二課「作客」(前半) 第 4 回:第二課「作客」(後半) 第 5 回:第三課「中国菜」(前半) 第 6 回:第三課「中国菜」(後半) 第 7 回:第四課「大手饅頭」 第 8 回:まとめと試験				
<b>【テキスト】</b> 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)				
<b>【参考図書】</b> 授業中で紹介する。				
<b>【成績評価の方法】</b> 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 20%				

対面授業(教養教育科目)				01030
授業科目名:中国語中級			担当教員氏名:孫 路易	
Intermediate Chinese				
履修年次 1~4	1 単位	第 2 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)
<b>【授業の目的】</b> 1.新たな外国語の習得 2.知的能力の涵養 3.異文化理解を通じた人間形成				
<b>【授業の内容】</b> <b>第 2 学期</b> 第 1 回:第五課「中国的名特産」(前半) 第 2 回:第五課「中国的名特産」(後半) 第 3 回:第六課「茶食」(前半) 第 4 回:第六課「茶食」(後半) 第 5 回:第七課「告辞」(前半) 第 6 回:第七課「告辞」(後半) 第 7 回:第八課「黄山」 第 8 回:まとめと試験				
<b>【テキスト】</b> 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)				
<b>【参考図書】</b> 授業中で紹介する。				
<b>【成績評価の方法】</b> 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 20%				

対面授業(教養教育科目)				01031
授業科目名:中国語中級			担当教員氏名:孫 路易	
Intermediate Chinese				
履修年次 1~4	1 単位	第 3 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)
<b>【授業の目的】</b> 1.新たな外国語の習得 2.知的能力の涵養 3.異文化理解を通じた人間形成				
<b>【授業の内容】</b> <b>第 3 学期</b> 第 1 回:第九課「坐卧铺去」(前半) 第 2 回:第九課「坐卧铺去」(後半) 第 3 回:第十課「大観園」(前半) 第 4 回:第十課「大観園」(後半) 第 5 回:第十一課「中国園林」(前半) 第 6 回:第十一課「中国園林」(後半) 第 7 回:映画鑑賞 第 8 回:まとめと試験				
<b>【テキスト】</b> 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)				
<b>【参考図書】</b> 授業中で紹介する。				
<b>【成績評価の方法】</b> 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 20%				

対面授業(教養教育科目)				01032
授業科目名:中国語中級			担当教員氏名:孫 路易	
Intermediate Chinese				
履修年次 1~4	1 単位	第 4 学期	2 コマ	50 分×2(火曜 3・4 限)
<b>【授業の目的】</b> 1.新たな外国語の習得 2.知的能力の涵養 3.異文化理解を通じた人間形成				
<b>【授業の内容】</b> <b>第 4 学期</b> 第 1 回:第十二課「茶壺」(前半) 第 2 回:第十二課「茶壺」(後半) 第 3 回:第十三課「成語」(前半) 第 4 回:第十三課「成語」(後半) 第 5 回:第十四課「対聯」(前半) 第 6 回:第十四課「対聯」(後半) 第 7 回: 映画鑑賞 第 8 回:まとめと試験				
<b>【テキスト】</b> 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6)				
<b>【参考図書】</b> 授業中で紹介する。				
<b>【成績評価の方法】</b> 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 20%				



対面授業(農学部)			01033				
授業科目名:農場体験実習			担当教員氏名: 福田 文夫				
Experience of Farm Practice							
履修年次 1~4年	1単位	夏季集中	集中3日間	学研災加入を履修の条件とする			
<b>【授業の目的】</b> 農学部附属山陽圏フィールド科学センターにおいて、実際の農場での作業や運営に参画し、土や作物、家畜に触れて、農業の面白さや奥深さについて理解を深める。							
<b>【授業内容】</b> 1. 受講を希望する学生は事前に担当教員( ffukuda@(@以下は okayama-u.ac.jp))に直接メールにて問い合わせして下さい(希望人数によっては抽選になります)。 8月2日(金)17:00より、農学部第4講義室においてオリエンテーションを行い、履修の確認と注意事項を説明します。 2. フィールド科学センターにおいて、夏期休暇の3日間(9月24, 25, 26日)、以下のような要領で実習を行います。 1)野菜部門(岡山農場)、果樹部門(岡山農場)、水田部門(岡山農場)、畜産部門(津高牧場)の運営をそれぞれ体験する。 2)教員・技術職員とともに作業を行い、農業技術の体系を習得して、その必要性、合理性を理解するとともに、農業の面白さや奥深さを感じてもらう。 3)実習日程(詳細については、天候などの条件他で、時間帯を含め変更となる可能性がある) <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="vertical-align: top; width: 33%;"> 9月24日(火)  10:30-11:45 センター紹介  11:45-13:15 昼食(生協等)  13:15-15:00 水田の管理  15:15-17:00 野菜の管理1  17:00 解散 </td> <td style="vertical-align: top; width: 33%;"> 9月25日(水)  9:00-10:15 果樹園管理1  10:30-11:45 畑雑草の管理  11:45-13:15 昼食(生協等)  13:15-15:00 ブドウの収穫  15:15-16:00 果樹園管理2  16:00-17:00 ブドウの評価  17:00 解散 </td> <td style="vertical-align: top; width: 33%;"> 9月26日(木)  9:00-9:30 移動(津高牧場)  9:45-10:45 草地の管理  11:00-12:00 和牛の管理  12:00-12:30 移動(岡山農場)  12:30-14:00 昼食(生協等)  14:00-15:30 野菜の管理2  15:30-16:00 着替え  16:00 解散 </td> </tr> </table> 4)終了後、指示されたレポートは、メールにて担当教員へ提出する。					9月24日(火) 10:30-11:45 センター紹介 11:45-13:15 昼食(生協等) 13:15-15:00 水田の管理 15:15-17:00 野菜の管理1 17:00 解散	9月25日(水) 9:00-10:15 果樹園管理1 10:30-11:45 畑雑草の管理 11:45-13:15 昼食(生協等) 13:15-15:00 ブドウの収穫 15:15-16:00 果樹園管理2 16:00-17:00 ブドウの評価 17:00 解散	9月26日(木) 9:00-9:30 移動(津高牧場) 9:45-10:45 草地の管理 11:00-12:00 和牛の管理 12:00-12:30 移動(岡山農場) 12:30-14:00 昼食(生協等) 14:00-15:30 野菜の管理2 15:30-16:00 着替え 16:00 解散
9月24日(火) 10:30-11:45 センター紹介 11:45-13:15 昼食(生協等) 13:15-15:00 水田の管理 15:15-17:00 野菜の管理1 17:00 解散	9月25日(水) 9:00-10:15 果樹園管理1 10:30-11:45 畑雑草の管理 11:45-13:15 昼食(生協等) 13:15-15:00 ブドウの収穫 15:15-16:00 果樹園管理2 16:00-17:00 ブドウの評価 17:00 解散	9月26日(木) 9:00-9:30 移動(津高牧場) 9:45-10:45 草地の管理 11:00-12:00 和牛の管理 12:00-12:30 移動(岡山農場) 12:30-14:00 昼食(生協等) 14:00-15:30 野菜の管理2 15:30-16:00 着替え 16:00 解散					
<b>【テキスト】</b> 特に使用せず、プリント・プロジェクター等を適宜用いる。							
<b>【参考図書】</b> 応用植物科学栽培実習マニュアル, 森源治郎ほか監修, 養賢堂, 東京(2000)ISBN4-8425-0058-1							
<b>【成績評価の方法】</b> 出席と実習に対する取り組み態度及びレポートの内容を重視して評価する。							

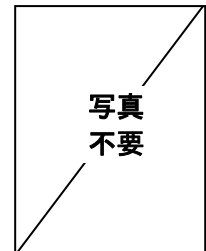
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等	大学				
学部・学科・学年	学部	学科	年		
(所属大学) 学生番号	性別	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成・令和 年 月 日		
現住所	〒 — — — — — Tel ( ) —				
メールアドレス	@				

※なるべく所属大学で付与されているメールアドレスをご記入ください。

- \* 履修受付締切日： 第1～2学期：4月1日(月)15時まで 第3～4学期：9月19日(木)15時まで
- \* 区分(教養/専門)： 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>遠隔授業科目</b>										
01101	素粒子と宇宙	教養	吉村 浩司 増田 孝彦	1	第1学期	1～4	受講方法を、遠隔又は対面のどちらかを選択し、受講してください。	金 8:40～10:30	遠隔 対面	
01102	セキュリティ概論	専門	横平 徳美 野上 保之 福島 行信 五百旗頭 健吾 小寺 雄太	2	第3・4学期	3～4	理工系学部3年次以上	月 15:30～17:20		
01103	生活と物理学	教養	池田 直	1	第1学期	1～2	講義内容が似ているので、どちらか一方のみの履修とすること。開講時間に合わせて、講義資料をダウンロードする。文系学生向き	月 15:30～17:20		
01104	現代社会と先端物理学	教養	池田 直	1	第2学期	1～2		火 13:25～15:15		
<b>対面授業科目</b>										
01001	フランス語コミュニケーション1	専門	萩原 直幸	2	第1・2学期	1～4		火 8:40～10:30		
01002	フランス語コミュニケーション2	専門	萩原 直幸	2	第3・4学期	1～4		火 8:40～10:30		

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講期	配当 学年	備 考	曜日・時限	履修 希望	評 価
<b>対面授業科目</b>										
01003	中等社会科・公民科 指導法ⅠA	専門	桑原 敏典	1	第2 学期	2~4		火 15:30~17:20		
01004	中等社会科・公民科 指導法ⅡA	専門	桑原 敏典	1	第4 学期	2~4		火 15:30~17:20		
01005	GCED(グローバル・ シティズンシップ教育)論	専門	桑原 敏典	1	第3 学期	2~4		月 8:40~10:30		
01006	中等社会科・公民科 指導法基礎A	専門	桑原 敏典	1	第4 学期	1~4		木 8:40~10:30		
01007	中等社会科・公民科 授業開発(応用)	専門	桑原 敏典	1	第4 学期	2~4		月 8:40~10:30		
01008	法と正義	専門	大森 秀臣	2	前期	3~4		金 18:00~19:30		
01009	経営学入門	専門	藤井 大児	2	第1・2 学期	1~4		月 19:40~21:10		
01010	痛みの科学	教養	宮脇 卓也 他	1	第2 学期	1~4		月 8:40~10:30		
01011	Introduction to Development Studies	教養	山本 由美子	1	第1 学期	1~4	大学のウェブシラバスを確認 し、事前に担当教員の許可を 得ること	火 15:30~17:20		
01012	健康・スポーツ科学C	教養	鈴木 久雄 榎本 翔太	1	1~4 またがり	1~4		水 18:30~20:10		
01013	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第1 学期	1~4	詳細はシラバス参照 第1学期と第2学期を合わせ て受講することが望ましい。	火 13:25~15:15		
01014	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第2 学期	1~4		火 13:25~15:15		
01015	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第3 学期	1~4	詳細はシラバス参照 第3学期と第4学期を合わせ て受講することが望ましい。	火 13:25~15:15		
01016	韓国語中級	教養	陳 南澤	1	第4 学期	1~4		火 13:25~15:15		
01017	数理・データサイエ ンスの基礎	教養	國米 充之	1	第3 学期	1~4	文系学生対象	月 10:45~12:35		
01018	数理・データサイエ ンスの基礎	教養	市岡 優典	1	第3 学期	1~4	理系学生対象	月 10:45~12:35		
01019	安全衛生入門	教養	寺東 宏明 他	1	第4 学期	1~4		金 13:25~15:15		
01020	生命保険を考える	教養	萩原 信裕	1	第1 学期	1~4	同一科目のため、 どちらかを受講すること	月 13:25~15:15		
01021	生命保険を考える	教養	萩原 信裕	1	第2 学期	1~4		金 13:25~15:15		
01022	ESD「持続可能な開 発のための教育」の ホール・コミュニティ・ アプローチ	教養	柴川 弘子	1	第3 学期	1~4	学外活動があります。	火 13:25~15:15		
01023	子どもの歴史の学び 方Ⅰ—今をつくる歴史—	教養	桑原 敏典	1	第1 学期	1~4	第2学期の「子どもの歴史の 学び方Ⅱ—未来をつくる歴史— 」と合わせて履修することが 望ましい。	木 8:40~10:30		
01024	子どもの歴史の学び 方Ⅱ—未来をつくる 歴史—	教養	桑原 敏典	1	第2 学期	1~4	第1学期の「子どもの歴史の 学び方Ⅰ—今をつくる歴史— 」を履修していないと履修で きない。	木 8:40~10:30		

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
01025	交流による子どもの成長支援Ⅰ	教養	桑原 敏典	1	第3学期	1~4	学外での活動が多い授業です。そのため、必ずしも時間割に示された時間に実施するわけではありません。	月 15:30~17:20		
01026	交流による子どもの成長支援Ⅱ	教養	桑原 敏典	1	第4学期	1~4		月 15:30~17:20		
01027	対話による社会参画入門 入門編	教養	桑原 敏典	1	第3学期	1~4	第4学期の「対話による社会参画入門 上級編」と合わせて履修することが望ましい。学外での活動が多い授業です。	金 15:30~17:20		
01028	対話による社会参画入門 上級編	教養	桑原 敏典	1	第4学期	1~4	第3学期の「対話による社会参画入門 入門編」を履修していないと履修できない。学外での活動が多い授業です。	金 15:30~17:20		
01029	中国語中級	教養	孫 路易	1	第1学期	1~4	担当教員からの履修許可があれば1年生も履修可 中国語初級履修経験者重複履修可	火 10:45~12:35		
01030	中国語中級	教養	孫 路易	1	第2学期	1~4		火 10:45~12:35		
01031	中国語中級	教養	孫 路易	1	第3学期	1~4		火 10:45~12:35		
01032	中国語中級	教養	孫 路易	1	第4学期	1~4		火 10:45~12:35		
01033	農場体験実習	専門	福田 文夫	1	夏季集中	1~4	●開催場所:岡山大学農学部山陽圏フィールド科学センター ●定員15名程度 ●学研災加入を履修の条件とする。	9/24~26(3日間)		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚